

岡山県高等学校体育連盟ボウリング専門部

新型コロナウイルス感染症

予防策ガイドライン

2022年5月20日

感染防止のための基本姿勢

- マスクを持参し、常時鼻まで覆うように着用する。
※練習中や競技中(投球中や投球の待ち時間を含む)も常時マスクを着用する。
- こまめに手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保する。(密閉・密集・密接を避ける。)
- イベント中に大きな声での会話、応援等をしない。
- 定期的に換気する。(出入口・窓の開放、換気扇の使用)
- 複数の参加者が触れると考えられる場所をこまめに消毒する。(センターのスタッフに協力依頼する)
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守する。

以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせるか、専門部委員長に報告し相談する。

また、専門部委員長より参加および入場を断る場合がある。

- 体調がよくない場合(例:発熱・咽頭痛などの症状がある場合)
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、また発熱・咽頭痛等の症状がある同居家族がいる場合
- 過去14日以内に感染または濃厚接触者になった場合
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- その他、イベント参加後14日以内に新型コロナウイルス感染症を発症もしくは濃厚接触者になった場合は専門部委員長に報告する。

入場時・競技受付

- 非接触型体温計により体温を計測し、37.5度以上の者の入場を禁止する。
- 入場口に設置したアルコール消毒液等で、手指を消毒する。
- マスクの有無を確認し、着用していない者の入場を認めない。
- 広いスペースで行い、間隔を空けて並ぶ。
- 受付テーブル前面にアクリル板を設置する。
- 競技受付は監督もしくは代表者が全選手・全チーム分一括で行う。
- 各種費用を現金で徴収する場合、選手はお釣りが発生しないよう事前に用意する。
- 複写スコアカードは極力使用せずに競技運営を行う。(センター発行のスコア一覧等を活用するなど)
- 鉛筆、クリアファイルは配布しない。

競技中とその後

- ボウリングシューズは各自のものを使用する。
- 競技開始前の挨拶では、握手はしない。
- ハンドタッチやグータッチ、その他選手同士の肌と肌が接触する行為は禁止する。(チームメンバー同士でも禁止)
- ボールを拭くタオルは各自のものを使用する。(会場センターのものは用意しない)
- アピールは挙手により行う。(各ボックスにアピール用の旗は置かない)
- こまめな水分補給を行う。その際声を出さない。
- スコアカードを記入する際の鉛筆・ペンは各自で用意する。
- 選手はコンソールモニターには触らない。(次のゲームへ進む場合は審判員またはセンタースタッフを呼ぶ)
- 競技スケジュールやその他競技上、許容されうる場合にはボックス内の人数を減らしてシフト制にする。
- 競技中に叫んだり、大声を出したりしない。
- 他選手の競技用具には触れない。
- 競技終了後は必ず手洗いをを行う。
- 競技終了後は速やかに会場を出る。

開会式・表彰式・閉会式

- 選手は基本的にマスクを着用する。(写真撮影時のみ外す)
- 個人戦の場合、表彰台の間隔を広くとる。チーム戦の場合、表彰台の間隔を広くとりつつ、表彰を行う。
- 表彰選手の待機ボックスはスペースを広くとる。

洗面所

- 手洗いは30秒以上、石鹸を使って行う。
- ジェットタオル(風で水滴を吹き飛ばすもの)は使用禁止とする。ペーパータオルもしくは各自のハンカチ・タオルを使用する。
- トイレの蓋を閉めて汚物を流す。
- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー等)をこまめに消毒する。(センターのスタッフに協力依頼する)

監督会議

- 注意事項説明のみとし、時間を短縮する。(出席役員紹介、挨拶等は割愛する)
- 監督・役員それぞれソーシャルディスタンスを保って着席する。

その他

- 会場内での食事は禁止する。
- 食事中、対面での着席は避け、会話は控える。
- 県外試合等宿泊の際は、極カシングルルームを利用する。
- 場内複数箇所にアルコール消毒液を設置する。(センターのスタッフに協力依頼する)
- シフト入れ替え時、ボックス内の消毒作業を行う。(センターのスタッフに協力依頼する)